



シルバーだより

No. 288

平成 26 年 6 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

『年を重ねても』

パステル・絵の具画教室講師 藤島久子

《光陰矢の如し》を実感する今日この頃です。やりたいことがいっぱいです。何かに夢中になって取り組む気持ちは、年齢を重ねても若い頃と変わりません。私にとって絵は、子供の頃から何よりも好きで、今もしばらく描かないと焦り、又、かけがえのない楽しみでもあり、一生勉強でもあります。

音楽を聴くことも、充実した気分になれる時間です。日本では子供の頃から、図工・美術・音楽を教科として学びます。これらは情緒教育といわれ、子供の心を豊かに育み、成長してからも、やさしい思いやりの心、平和を愛する心を培う教科といわれてきました。

絵画同様、音楽にも巾広い分野があり、ロックやクラシック等々、それぞれの好みで、人は楽しみ充実感を得ているのだと思います。年齢と関係なく、描いたり、聴いたり、声にしたり、若々しく生き生きと過ごしていらっしゃる方が多勢で、とても励みになり、頼もしく嬉しいことです。

ビートルズといえ、現代音楽の先駆けとも言われ、人々の心を捕え、知らない人はいない音楽グループですね。ずい分前に解散しましたが、メンバーのひとりポールマッカートニーさんのライブが昨年 11 月にありました。英王室から「ナイト」の称号も受け、ロック・ポップ・バラード・クラシック等々、オールマイティの天才でもあります。12 年前に来日した際も、昨年のライブも、漸く手に入れたチケットで、生演奏にひたることができました。若い頃の声・演奏は 71 歳になっても変わらず、三時間近く休むことなく続けました。

パノラマのような会場の上部の人は豆粒に見えましたが、全員総立ちで会場が一つになり、どよめきと興奮のるつぽに包まれ、人々は魅惑の世界に酔いしれていました。生涯現役の言葉がびつたりのミュージシャンは、これからも人々に夢と希望を与えてくれることでしょうか。何と今年も来日！ 何はともあれ、あのきらめきと感動を受け、命の洗濯をしたいと楽しみにしている今日この頃です。



By Fujishima

「創立 30 周年記念誌」発刊を祝して

徳寿大学学長 大淵義明様からのお便り

御壮健にてますます御活躍の御様子、何よりで御座います。また、荒川シルバー大学が、多くの受講生の皆さんとともに、30年の歩みを紡ぎ、発展されておりますこと、誠にご同慶の至りと存じます。



これも、原田治子先生をはじめ、諸先生方の御尽力の賜物でございまして、心から敬意を表すもので御座います。

またこの度は、「創立 30 周年記念誌」をわざわざお送り下さいまして、誠に有難う御座いました。立派な記念誌の出来栄えに、感服致すと同時に、私のような物の拙文まで掲載して戴き、何とも恐縮の至りで御座いますとともに恥入っている次第であります。重ねがさねありがとうございます。

記念誌を紐解けば、お懐かしい先生方がお揃いで寄稿されておりました、私はお一人おひとりのお顔やお声を思い起こしながら、感激を抑えきれずに一気に読み通してしまいました。私にとりましては、忘れられない先生方といっぺんにお会いできたようなそんな意味を持つ記念誌で御座いました。

どうぞ原田先生をはじめ、岡田芳子先生、稲川君江先生、望月公子先生、木村国子先生、立川禮子先生、そして水越絹代さんと諸先生にお礼のご挨拶を申し上げます。

高齢者の学習運動は、今日の超高齢社会だからこそ、益々その重要性が増しているとは私は考えております。その観点からもシルバー大学は、貴重な荒川区の教育的社会資源としてその価値を増しているものと考えます。先生方の益々のご健闘・御活躍をご期待申し上げます。年齢を重ねても、何か社会とつながりを持つ仕事に従事したいと願う気持ちは、シルバー大学の先生方と同じだと考えているところで御座います。シルバー大学の益々のご発展と、お力を注がれておられる先生方のご健康をご祈念申し上げてお礼のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。(事務局宛・・・要旨にて)

教室紹介・・・ 書道・火曜教室

26 年度に向けて

講師 大友悦子

昨年はかけ足で過ぎたような気がする一年間でしたが、ほとんどの方が慣れ親しんだ顔ぶれでしたので、嬉しく感じました。熱心な生徒さんの上達ぶりは目覚

ましいものがあります。私自身もいろいろな面で学ぶ事が多く、更に精進して参りたいと思います。

幾つになりましても目に見えて上達できる書道は、向上心を仰ぎ、集中できる楽しい時間でもあります。今年度も基本の楷書を中心に、古典や創作にも力を入れていく予定です。

未熟者ではございますが、今年度も宜しくお願い申し上げます。

5月合同講義《柳家三三の落語》を鑑賞して

落語や漫才はテレビやラジオで観たり聞いたりした程度で、実際に実演をみたのは今回で二度目だが大変面白かった。本日の演目最初は「一目上がり」、中入り後は「お菊の皿」でした。噺に引き込まれ、あたかも噺の中に居る様な気分させられる。さすがにプロの噺はこんな処にあるのだと思った。実演はテレビやラジオとは一味も二味も違うものと思った。



京成町屋駅から上野駅まで15分ほど。上野には鈴木演芸場がある。こんな近くに演芸場がある。大部昔のことだが、一度友達と入った事がある。その時も面白い思いをした。前を通った時など一寸のぞいて出演者や演目を見て帰ってきてしまう。今は隙がたっぷりある。行こうと思えばいつでも行ける。偶には行ってみよう。今回このような機会を開催して下さった関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

施設部長 藤原 晃

あの映像、本当だったのです！

4月の爽やかなある朝、ベランダで、ガサガサと聞き慣れない音がしていました。何事かとカーテンを開けて、そっと覗いてみました。そこにはカラスが2羽、それぞれが針金のハンガーを口にくわえて、ベランダの手すりに乗っていたではありませんか。物干し竿に掛けておいたハンガーが目について取りに来たらしいのです。

以前、都会で生きるカラスが、身近にあり手に入りやすい物を利用して作った巣をテレビで見た事があります。木の枝や針金のハンガーを組み合わせて、それは見事な出来映えだった事を思い出しました。春は、木々が芽吹き一斉に花が咲き、新しい生命の誕生に相応しい季節なのでしょう。動物園でも次々に赤ちゃんが誕生し、愛らしい姿が来園者の人気を集めています。カラスの夫婦は、力を合わせて巣作りの材料集めをしていたのでしょう。2羽は口にくわえ共に飛び立っていきました。小さい卵が、そして雛が産まれるのもそう遠くないのでは。

9班 井口和子

6 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事 内 容	講 師
19日(木)	合 同 講 義 「最先端を行く荒川区政」	荒川区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後2時より		

◆◆◆ 学 園 日 誌 (5月) ◆◆◆

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 13 日 常任理事会・役員会
(開講式の件) | 23 日 25年度 会計監査 |
| 講義打合せサンパール | 27 日 広報委員会 |
| 22 日 第一回講義 | 28 日 シルバー便り 288号発行 |
| 柳屋三三(さんざ)の落語 | 30 日 講師会 |

※事務局だより※



◆研修旅行：8月26・27・28日 諏訪湖「湖上花火」と上諏訪温泉。締切7月末。

◆注意事項：冷房のスイッチ・戸締り・忘れ物・ごみのチェックをお願いします。

◆7月・8月の役員会について：7月=7月1日 8月=7月31日 (学園祭の件)

班長さんへ感謝

4月の役員会が済むと「シルバーだより」「入講・入学式の案内状」「学校案内・年間スケジュール」などを、一軒一軒お配りして歩く班長さん。5月以降も毎月「シルバーだより」をかかさずお届けする。また1対1でお会いして説明しないと用が済まない事もある。雨風にもめげず、黙々と続けた作業にも体力的に限界を感じた時、次の方に交代していただく場合が多い。学生の皆さんの無事と幸せを願い、ある時は相談にのりながら歩いた班長さんが、いつしか自ら司令塔になって荒川シルバー大学の裾野を広げてきたことは尊敬に値する。歩いた年月が育んだご苦勞は深い包容力となり、一言に重みがある。受け取る我々は、失礼のないように感謝の意を表しお気持ちに応えたいものである。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原

